

◆総務省統計局に決めた理由は？

『統計の魅力』

統計調査で得られた結果が、物事の基準となって様々な場面で活かされていくことを知り、このような「統計」という仕事の魅力に惹かれたのが、私が総務省統計局で働きたいと思った理由です。

◆現在の仕事と今までに担当した仕事は？

『統計データの活用』

私は、各府省が公表している統計データを政府統計の総合窓口(e-Stat)というひとつのサイトにまとめ、提供を行ったり、統計データの高度な活用を実現させるAPI機能や地図上に統計データを重ねて表示させるGIS機能の提供を行ったりなど、作成された統計の結果を国民の皆様にご利用いただくための業務を行っています。

◆仕事の魅力とやりがいは？

『「アプリDe統計」の開発』

今までで一番印象深かった業務は、「アプリDe統計」という、スマートフォンで手軽に統計データをみることができるとともに、アプリの開発に携わったことです。便利かつ使いやすくなることを重視し、試行錯誤しながら開発しました。その結果、たくさんの方から評価いただき、充実感と達成感を得ることができました。

◆みなさんへメッセージ！

『統計の面白さ』

統計データの活用という視点から取り組む業務は新しく始めることばかりです。毎日が勉強の日々ですが、その分、様々な分野で視野を広く持つことができると共に、統計の奥深さと面白さを改めて感じることができます。皆さんも統計の面白さを私たちと一緒に感じてみませんか。

学ぶからこそ面白い



統計情報システム課

高瀬 美波

Takase Minami

平成24年採用
最適化企画係



平成19年
統計研修所統計図書
館運営企画係
平成20年
統計局総務課
企画調整係
平成22年
統計局経済基本構造
統計課
事業所母集団データ
ベース管理調整係
平成25年
国勢統計課
住宅・土地調査第一係
平成26年
(現職)



国勢統計課
山田 克哉

Yamada Katsuya

平成19年採用
オンライン調査係



◆総務省統計局に決めた理由は？

『縁の下から支える仕事』

就職活動が始めるまでは「統計」に関する知見はありませんでしたが、官庁訪問をした際の説明会の中で、「統計」が国や地方公共団体における様々な政策の基になっていることを知り、興味が湧きました。このことがきっかけで国民の生活を縁の下から支える仕事をしている総務省統計局を志望しました。

◆現在の仕事と今までに担当した仕事は？

『日本の全世帯でインターネット調査を』

採用されてから、統計調査の企画や統計データの管理を行ってきました。現在はオンライン調査係で、来年実施する平成27年国勢調査という日本の全世帯を対象とした調査を、初めて全ての世帯がインターネットで調査に回答することができる方式で実施します。私はそのシステムの構築に係る業務に従事しています。

◆仕事の魅力とやりがいは？

『国民の負担を少なくするために』

配属当初は、IT用語が飛び交い、戸惑うこともありましたが、業務に慣れてくると「統計」を作成することとは違った新鮮さ、充実感を、一つ一つ理解するたびに実感できます。

世帯が容易にインターネットから回答できる仕組みを構築できれば、国民一人一人の負担も少なくなるので、国民のために働く充実感を得ることができます。

◆みなさんへメッセージ！

『苦労はつきもの。でも心配無用』

仕事に「苦労」はつきものですが、自分一人では立ち向かう訳ではありません。私はこれまでも、今も優しく頼れる上司や周りの方々からのサポートにより、毎日「充実」した公務員生活を送っています。皆さんも何の心配もありません。少しでも興味を持たれた方、官庁訪問の際には、総務省統計局にぜひお越しください。

「苦労」から「充実」に！